

平成28年度指定管理運営業務評価表

施設名称：大阪府立障害者交流促進センター	指定管理者：ファインプラザ大阪運営事業共同体	指定期間：平成25年4月1日～平成30年3月31日	所管課：福祉部 障がい福祉室 自立支援課
----------------------	------------------------	---------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
Ⅰ 提案の履行状況に関する項目	<p>①施設の設置目的 （身体障害者福祉センターA型の機能）及び管理運営方針</p> <p>・施設の設置目的に沿った運営がなされているか。</p> <p>【指定管理者選定時の選定基準】</p> <p>1 施設の設置目的を理解しているか （交流施設であること、身体障がい者福祉センターA型施設であること）</p> <p>2 提示した管理運営方針 （「専門性の高い職員の指導」「誰もが安心してスポーツに取り組むことができる」「最小限の経費で最大の効果が上がる運営」と、事業者が提案した管理運営方針に合致するか</p> <p>3 提案事業者・法人として社会貢献活動、環境活動、法令遵守などの取組み状況</p>	<p><b>(1) スポーツ振興を中心に障がい者の福祉の増進</b></p> <p>① 陸上、水泳、卓球、アーチェリー、FDなどの競技別にアスリートの競技能力を高めるプログラムを体系的に実施</p> <p>&lt;体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府の福祉行政に精通した者や経験豊富な上級障がい者スポーツ指導員5人を配置</li> </ul> <p>&lt;総合スポーツ大会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第16回大阪府障がい者スポーツ大会 実施 5/15～5/29（5日間・6競技） 参加 916人</li> <li>・第16回全国障害者スポーツ大会への大阪府選手団の派遣 開催県 岩手県 開催 10/22～10/24 派遣選手団 138人（選手86人・役員52人） 獲得メダル数 97個（個人競技96個、団体競技1個）</li> </ul> <p>&lt;記録会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上記録会 実施 4/23 123人</li> <li>・水泳記録会 実施予定 3/20</li> </ul> <p>&lt;種目別大会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿障がい者フライングディスク大会 実施 4/29 165人</li> <li>・バリアフリーアーチェリー大会 実施 9/25 98人</li> <li>・大阪車いすハンドボール大会 実施 11/6 102人</li> <li>・大阪ボッチャ大会 実施 11/3 200人</li> <li>・バドミントン大会 実施 12/23 120人</li> <li>・卓球大会 実施予定 2/11</li> <li>・サウンドテーブルテニス大会（視覚障がい者卓球）実施予定 2/11</li> </ul> <p>② 大学連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪体育大学との連携協力に関する覚書の締結 8/28</li> <li>・ほっぷ・すてっぷ・ダンス（旧ぴかっとダンス名称変更） 提案 6回 120人 実施 9回 414人</li> <li>・ずっとダンス（新規実施） 実施 6回 299人</li> <li>・みんなでつくる発表会 実施 3回 282人</li> <li>・車イステニス練習会 提案 2回 60人 実施 2回 55人（雨天）</li> </ul>	S	<p>【評価の目安】</p> <p>S＝提案内容以上の事業実績をあげている。 （例：市町村など身近な場所で障がい者スポーツ活動を支援した結果、活動の定着に至った。など。）</p> <p>A＝提案内容どおりの事業実績をあげている。 （例：大学・企業との連携、研究会を設置し、検討を開始している。など。）</p> <p>B＝提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しも立っている。 （例：研究会の設置について、具体的な調整を進めている。など。）</p> <p>C＝提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 （例：館内事業のみを行い、外部団体等への普及啓発や連携活動を行っていない。など。）</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <p>（1）スポーツ振興を中心に障がい者の福祉の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国障害者スポーツ大会で設定されている競技種目を中心に多彩なスポーツ教室を設定するなど、提案どおりの事業を実施している。</li> <li>・センター主催の大会・記録会は提案どおり実施または実施予定であり、実施済み事業についてはいずれも目標よりも多くの参加者を集めている。</li> <li>・大学連携事業については、ほとんどの事業が提案を大きく上回る実績を積んでおり、提案以外のダンス教室や障がい者スポーツ研修会を実施するなどして、障がい者スポーツの裾野拡大に努めている。乗馬体験の様な好評な事業についてはさらに実施回数を増やすことができないか検討してもらいたい。</li> </ul>	S	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪体育大学体育実技研究部障がい者スポーツ研修会 実施 1 回 12 人 ➤以上の 5 事業 連携大学＝大阪体育大学</li> <li>・ふれあい乗馬体験講習会 提案 1 回 10 人 実施 2 回 72 人 ➤連携大学＝大阪府立大学</li> </ul> <p>③ 相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士による生活相談 提案 12 回 実施 18 回 (12 月末現在)</li> <li>・障がい者スポーツ指導員によるスポーツ相談 提案 24 回 実施 47 回 (12 月末現在)</li> <li>・健康運動指導士による健康相談 提案 24 回 実施 41 回 (12 月末現在)</li> <li>・ファインブラザ利用者相談 (随時) 提案 240 回 実施 1,054 回 (12 月末現在)</li> </ul> <p>④ 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 実施 11/19～11/27(4 日間) 修了者 19 人</p> <p><b>(2) 競技スポーツ分野の指導力を高めるための調査研究</b></p> <p>① 障がい者スポーツの振興に関する研究会 委員＝学識経験者 (大学教授)、障がい者スポーツ団体、パラリピアン、障がい者スポーツ指導員 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第 1 回 H25.12.18 &lt;内容&gt; 研究テーマの確定 「障がい者スポーツの競技力向上のためのトレーニングプログラムの開発」など計 3 テーマ</li> <li>●第 2 回 H26.9.3 &lt;内容&gt; ・クロストレーニングを取入れた「水泳」の強化プログラム、</li> <li>●第 3 回 H27.12.2 &lt;内容&gt; ・「障がい者スポーツ競技力向上プログラム (素案)」 ・「障がい者スポーツ大会運営モデル (素案)」</li> <li>●第 4 回 H28.8.31 &lt;内容&gt; ・「初心者を対象とした指導プログラム (仮称)」【水泳】 ・障がい者スポーツ競技力向上プログラム (素案)」</li> <li>●第 5 回 H28.11.9 &lt;内容&gt; ・「初心者を対象とした指導プログラム (仮称)」【水泳】 ・障がい者スポーツ競技力向上プログラム (素案)」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事業についても提案回数を大きく上回っているが、利用人数ゼロの回もあり、開催方法について更なる工夫が必要である。</li> <li>・障がい者スポーツ指導員の養成など間接的な支援も実施するなど、多角的な支援を提案通り行っている。</li> </ul> <p>(2) 競技スポーツ分野の指導力を高めるための調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会について、競技力向上のためのトレーニングプログラムや大会運営のマニュアル等を開発することを目的としている。</li> <li>・今年度は第 4 回と第 5 回の研究会を開催し、これまでの議論を具体化した指導マニュアル案を作成し、その内容について確認作業を行っているとのことであり、予定通りの進捗である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容を分析し、今後の施設運営の改善につなげること。</li> </ul>
--	--	--	--	--	---	--

			<p><b>(3) 地域における障がい者スポーツを振興するための事業</b></p> <p>① 地域スポーツ振興課を設置（職員 3 名配置）</p> <p>② 地域展開事業として、大阪府視覚障害者福祉協会、府立阿武野高校、富田林市立第一中学校、堺市立御池台小学校など小中高等学校、障がい者団体等に出向きスポーツ活動支援</p> <p>提案 100 回 10,000 人 実施 91 回 13,597 人（12 月末現在）</p> <p>※地域展開事業（出前事業、研修受入、指導員派遣等）の利用促進を図るため、大阪府教育庁及び市町村教育委員会を通じ、府立高校、府立支援学校、小・中学校に教員を対象とした、「障がい者スポーツ体験研修」の案内を送付。</p> <p>また、研修参加教員に PR を行った結果、事業申込みや問い合わせが広がり、地域展開を数回実施した学校や総合型地域スポーツクラブ（門真はすねクラブ）では、障がい者スポーツが定着し、自主開催が可能になり、障がい者スポーツ用具の貸し出しが増加。</p> <p>※PR 強化として、支援学校長会・支援学校 PTA 会・支援学校教員に直接 PR を行うとともに、大阪府障がい者スポーツ大会市町村説明会において市町村障害者スポーツ担当者に事業紹介を実施</p> <p>③スポーツボランティア講習会 2 回 52 人</p> <p><b>(4) マルチジョブ化による人件費の軽減</b></p> <p>① 利用受付、電話受付業務等については、管理部門、事業部門の区別なく誰もが行う</p> <p>② 指導現場においては、水泳のスポーツコーチがトレーニング室においてトレーニングの指導を行うなど、専門分野を重視しつつも、すべての指導員が専門分野を超えて指導に従事</p> <p><b>(5) 省エネ対策</b></p> <p>① 関西エコオフィス宣言にそって、冷暖房期間、適切な温度を設定</p> <p><b>上記の事項を着実に実施することにより、身体障害者福祉センターA型の機能をいかに発揮した。</b></p>		<p>(3) 地域における障がい者スポーツを振興するための事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案どおり職員を 3 名配置</li> <li>・PR 強化など利用促進に努めた結果、提案を上回る参加者を集めている。また、実施回数も 1 2 月時点としては十分な回数である。</li> <li>・小・中学校の教員に障がい者スポーツ体験研修を送るだけでなく、その研修に参加した教員に PR を行うことで出前事業等の問い合わせが増えた。また、障がい者スポーツの定着なども認められ、来年度も引き続き取り組みを継続されたい。</li> <li>・イベントや説明会などにおいてもチラシを配るなどすることで PR に努めていた。</li> <li>・ボランティア講習会も提案を上回る参加者を集めており、障がい者スポーツを支えるという面においても積極的な取り組みが認められる。</li> </ul> <p>(4) マルチジョブ化による人件費の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導など専門的分野を除き、一般的な利用者への接遇については、職域の範疇を超えた対応を行っている。</li> <li>・スポーツ指導においては専門性を重視しつつ、指導員の配置ローテーションにより、すべての指導員が専門競技以外の指導を行っている。</li> </ul> <p>(5) 省エネ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案通り実施している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチジョブ化の効果について来年度はよりわかりやすく説明すること。</li> </ul>
<p>② 平等な利用を図るための具体的手法・効果</p>	<p>・公平なサービス提供、対応(合理的な配慮の実施がなされているか)</p> <p><b>【指定管理者選定時の選定基準】</b></p> <p>1 事業等の内容が平等利用を担保する内容となっているか</p> <p>2 高齢者、障がい者等に対して配慮を要する事項について適切な提案がなされている</p>		<p><b>(1) 特に障がい者・高齢者に配慮し、すべての利用者に平等な施設サービスの提供</b></p> <p>① 人権問題研修 提案 2 回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に関わる講習会の受講等 2 回</li> </ul> <p>② すべての障がい種別や幅広い年齢に対応した多様なスポーツ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジスポーツ（ファインプログラム：障がい者優先、リハスポーツ：脳血管疾患の後遺症のある方、重度身体障がい者個別水泳指導など）</li> </ul> <p>提案 300 回 3,132 人 実施 256 回 2,785 人（12 月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サウンドテーブルテニス練習会・アスリート強化練習会</li> </ul>	<p>A</p>	<p><b>【評価の目安】</b></p> <p>S = 提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例：提案書の内容については、すべて実施済み。など。)</p> <p>A = 提案内容どおりの事業を実施予定であり、内容についても具体的に決定している。 (例：事業実施日が到来していない。など。)</p> <p>B = 提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施見通しも立っている。 (例：事業実施の関係者調整を行っている段階であ</p>	<p>A</p>	

	か	<p>(視覚障がい者卓球) 提案 6回 90人 実施 13回 114人 (12月末現在)</p> <p>・ユース水泳(身体)教室 提案 24回 240人 実施 32回 62人 (12月末現在)</p> <p>・ユース水泳(知的)教室 提案 48回 480人 実施 48回 448人 (12月末現在)</p> <p>・ジュニア水泳(身体)教室 提案 48回 1,440人 実施 36回 355人 (12月末現在)</p> <p>・ジュニア水泳(知的)教室 提案 48回 1,440人 実施 32回 817回 (12月末現在)</p> <p>・キッズ水泳 提案 24回 960人 実施 16回 479人 (12月末現在)</p> <p>③ 総合受付に利用案内、送迎バス運行時刻表、料金表等を配置 玄関ホール右側にファインプラザ大阪、左側に障がい者スポーツ協会の 掲示板を配置し、各事業案内、トピックス等を掲示 また、ロビー正面には大型モニターにより事業案内などを分かり易く 案内 さらには、視覚障がい者対応として、受付前と三階ロビー及び一階エ レベータ前に点字による施設・利用案内板を設置</p> <p>④ 聴覚障がい者対応として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付に手話通訳者を配置</li> <li>・イベント開催時手話通訳者を配置</li> </ul> <p>⑤ 視覚障がい者対応として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字パンフレットを作成</li> </ul> <p>⑥ メールマガジンを月2回(火曜)発行、スポーツ・文化事業やイベン トの報告などを掲載するスタッフブログの随時更新 また、機関紙「アベニュー」の発行及び点字版を作成</p> <p>⑦ 利用案内の英語版を作成</p> <p>⑧ 館内案内表示に英語表示を追加</p> <p><b>(2)管理運営にかかる情報公開請求への適切な対応</b></p> <p>① ファインプラザ大阪運営事業共同体情報公開規程の整備 (H25.4)</p> <p><b>(3)施設運営にかかる要望、苦情に対する迅速、適切な対応</b></p> <p>① ファインプラザ大阪運営事業共同体苦情解決規程を整備し、苦情解決 責任者、受付窓口責任者を指定、また、第三者委員会を設置し、三名 に委員を委嘱 (H25.4)</p> <p>② ファインプラザ大阪の事業運営について、地域や利用者の視点から評 価・提言を行うための運営協議会を開催 実施 3/7</p> <p>③ 「ご意見箱」を総合受付横、3階ロビー、プール受付横の3カ所に設 置し、毎日回収対応</p>	<p>る。など。)</p> <p>C=提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例:研修の実施予定なし、機関誌の未発行など、 事業実施の目途が立っていない。など。)</p> <p><b>【自立支援課の評価】</b></p> <p>(1) 特に障がい者・高齢者に配慮し、すべての利用 者に平等な施設サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案どおり幅広い障がい種別や年齢層に対応した プログラムをそろえて実施している。参加者数が 目標に達していないものもあり、PRの方法など に工夫の余地がある。</li> <li>・手話通訳者の配置、点字パンフレットの作成、府 大会の募集要項にルビを振る、車椅子を搭載可能 なリフト付きバスによる送迎など、障がい者が利 用するに当たり合理的な配慮を行っている。</li> <li>・英語版の利用案内や館内表示を行うことで、外国 人でも利用しやすい環境づくりに努めている。</li> <li>・メールマガジンの発行や、「アベニュー」の発行に ついては提案どおり実施されている。ブログにつ いては提案どおりに更新されていないが、ウェブ 媒体のPRはメールマガジンやホームページで行 われているので、十分なされていると考えられる。 利用者拡大のため、ウェブ以外のPR方法の実施 を検討されたい。</li> <li>・研修の実施や案内板の設置などに加え、すべての 障がい種別などに応じた教室の開催や、コミュニ ケーション手段を確保するなど、提案どおりの事 業を実施している。</li> </ul> <p>(2) 管理運営にかかる情報公開請求への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案どおり規定を制定している。公開請求は現在 のところなし。(要確認)</li> </ul> <p>(3) 施設運営にかかる要望、苦情に対する迅速、適 切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決規定、運営協議会の設置など、提案どお りの事業を実施済みであり、記載した以外にも軽 易なご意見・ご要望については、早期に対応でき ている。</li> <li>・運営協議会について、障がい者当事者団体の代表 者を招聘し、同センターにとって障がい当事者の</li> </ul>	
--	---	--	---	--



			<p>提案、苦情については、可能な限り取り入れ また、回答は掲示板に掲示し公表 意見等件数 19件(12月末)</p> <p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健常者も利用しやすい料金改定、回数券の発行 ⇒大阪府に報告</li> </ul> <p>④ 施設利用者との意見交換会 7/10 出席者＝主催者6名、利用者11人</p> <p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の施設に比べ休館日が多く、3日、5日等連続休館日がある。</li> <li>・体育館にスタッフ呼び出しボタンの設置</li> </ul> <p><b>上記事項を着実に実施することにより、公平なサービスの提供、対応ができた。</b></p>		<p>意見や要望を聞くことは重要かつ必須であるため、昨年度に引き続き実施する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/10に利用者意見交換会を実施し、利用者の意見を吸い上げる取り組みを実施。意見に対する対応も行われている。</li> </ul>		
③利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>・利用者増加のための工夫</p> <p><b>【指定管理者選定時の選定基準】</b></p> <p>1 提案事業に関するもの (第4次大阪府障がい者福祉計画・大阪府スポーツ推進計画に沿った提案か) (独創性、実現可能性、利用者増加の期待性、サービス向上のための取組み内容)</p> <p>2 年間の広報計画の内容は適切か (独自ネットワークの活用、親しみやすさ、1利用者増加の期待性)</p> <p>3 自主事業の提案は、利用者の増加、サービスの向上を図るための工夫がなされている提案となっているか (提案の有無、独創性、利用者増加の期待性)</p> <p>4 施設の設備、機能をフル活用した内容となっているか</p>	<p><b>(1) 利用者増加のための工夫</b></p> <p>① 「障がい者スポーツの振興に関する研究会」 <b>【再掲】</b> <b>P2参照</b></p> <p>② ひろめるー「障がい者スポーツ市町村展開事業」 車椅子バスケットボール体験教室の実施をはじめ各市町村の学校等に出向いて障がい者スポーツの啓発、指導などの取り組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域展開事業 <b>【再掲】</b> <b>P3参照</b> ※PR強化として、支援学校長会・支援学校PTA会・支援学校教員に直接PRを行うとともに、大阪府障がい者スポーツ大会市町村説明会において市町村障がい者スポーツ担当者に事業紹介を実施</li> <li>・大阪府、府民スポーツ・レクリエーションフェスティバルへの障がい者スポーツブース出展</li> <li>・「ABCラジオまつり2016」において「三菱電機 Going Up キャンペーン全国キャラバン in 大阪」に障がい者スポーツ出展参加</li> <li>・共に生きる障がい者展 みんなでつくる発表会(ダンスなど)、障がい者スポーツ体験、障がい者スポーツの紹介等開催</li> </ul> <p>③ たのしむー「交流促進事業・生涯スポーツ事業」 チャレンジスポーツとしてのリハスポーツ(脳卒中後遺症、重度障がい者個別水泳教室)や交流促進を推進するための健康増進推進講習会の開催、また、体験型として障がい者プール体験事業などを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジスポーツ 提案 300回 3,132人 実施 256回 2,785人(12月末現在)</li> <li>・障がい者プール体験事業 提案 7回 140人 実施 14回 141人(12月末現在)</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>S</b></p>		<p><b>【評価の目安】</b></p> <p>S＝提案内容以上の事業実績をあげている。 (例：新たな取り組みにより、新規利用者の拡大を図っている。など。)</p> <p>A＝提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例：提案内容どおりの事業を的確かつ確実に実施している。など。)</p> <p>B＝提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しが立っている。 (例：事業実施に向け具体的な調整を進めている。など。)</p> <p>C＝提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例：研究会の設置について、委員の人選が決まっていない。など。)</p> <p><b>【自立支援課の評価】</b></p> <p>(1) 利用者増加のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会の実施について、①(2)(2ページ参照)のとおり、提案どおり実施されている。</li> <li>・支援学校長会や、各団体主催の競技大会、大阪府の実施するイベント等に出席し、ファインプラザ大阪の周知及び大阪府障がい者スポーツ大会への参加を呼び掛けるなど、新たな利用者の開拓のための取組みが行われている。また、今年度は民間の実施するイベントにも新たに参加して障がい者スポーツのPRに努める取り組みが行われた。</li> <li>・幅広い障がい種別や年齢層に対応したプログラムをそろえて実施し、いずれも12月時点としては</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>S</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大体大との連携について、引き続き円満に行うこと。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ体験事業  提案 6回 120人  実施 6回 156人 (12月末現在)</li> <li>・自然体験事業  提案 6回 120人  実施 5回 124人 (12月末現在)</li> <li>・職場体験事業  実施 4回 10人 (12月末現在)</li> </ul> <p>④ きわめる―「競技スポーツ分野の重点実施」  大阪府障がい者スポーツ大会の開催をはじめアスリート強化のために陸上、水泳の強化練習などを実施し、選手のレベル向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート強化練習会  提案 499回 6,230人  実施 477回 6,643人 (12月末現在)</li> <li>・選手育成練習会  提案 123回 6,060人  実施 228回 4,339人 (12月末現在)</li> <li>・水泳教室、サマースクール  提案 212回 5,310人 (870人、2,220組)  実施 198回 2,840人 (12月末現在)</li> </ul> <p>⑤ つたえる―「HPの活用・センター情報誌の発刊等の情報発信」  機関紙「アベニュー」やホームページを活用して情報発信に努力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、メルマガ、スタッフブログの随時更新</li> <li>・機関紙「アベニュー」の発行  発行回数 4回 (727か所に送付)</li> </ul> <p>⑥ つながる―「大阪府・障がい者スポーツ団体NPO法人系事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携  「ファインエリアフェスティバル」(ゲスト、元オリンピック競泳選手千葉すず氏)  実施 10/16  後援 12団体、協力3団体  参加 25団体  来場者 9,847人</li> <li>「クリスマスのつどい」  実施 12/10  参加者 210人</li> <li>「こどもの日のつどい」  実施 5/5  来場者 2,321人</li> <li>「新春卓球まつり」  開催予定 1/9</li> </ul>		<p>提案十分に満たす回数を実施できている。一部のプログラムで参加者が目標を下回っているが、さらなるPR等の充実により目標達成に努めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジンの発行や、「アベニュー」の発行についても提案どおり実施されている。ブログについては提案どおりに更新されていないが、ウェブ媒体のPRはメールマガジンやホームページで行われているので、十分なされていると考えられる。利用者拡大のため、ウェブ以外のPR方法の実施を検討されたい。(再掲)</li> <li>・大阪府障がい者スポーツ協会をはじめ、府内一円を管轄する障がい者スポーツ団体の事務局運営を担当し、大会の開催や指導者養成などを実施することで、大阪における障がい者スポーツの普及・啓発の中心となる展開を図っている。</li> <li>・提案以外にも多くのスポーツ大会の実施を誘致・実施することにも取り組んでおり、ファインプラザ大阪を知ってもらう機会にもつながった。</li> <li>・今季は新たに現役のパラリンピック選手や元オリンピック選手を呼んだイベントを実施することで、多くの参加者を集めることに成功していた。</li> </ul>	
--	--	--	--	--	--	--

			<p>「もちつき大会」 開催予定 1/9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との連携 【再掲】 P1 参照</li> <li>・競技団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪障害者フライングディスク協会」の事務局運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町主催のフライングディスク大会への審判員派遣</li> </ul> </li> <li>「近畿身体障害者水泳連盟」の事務局運営</li> <li>「大阪府知的障がい者サッカー教室及びアンプティサッカー体験会」【大阪府サッカー協会】 実施予定 2/12 (予定)</li> <li>「障がい者アイススケート教室」【大阪府スケート連盟】 実施予定 2/15・17 (予定)</li> <li>「第2回大阪府障がい者ダブルスポウリング大会」【大阪府ボウリング連盟】 実施 7/24 50人</li> <li>「ファインプラザ大阪大会記録会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上記録会 4/23 123人</li> <li>近畿障がい者フライングディスク大会 4/10 163人</li> <li>バリアフリーアーチェリー大会 9/25 98人</li> <li>大阪車いすハンドボール大会 11/6 102人</li> <li>大阪ポッチャ大会 11/3 200人</li> <li>バドミントン大会 12/23 120人</li> <li>卓球大会 2/11 (予定)</li> <li>サウンドテーブルテニス大会 (視覚障がい者) 2/11 (予定)</li> <li>水泳記録会 3/21 (予定)</li> </ul> </li> <li>(提案外) <ul style="list-style-type: none"> <li>近畿身体障害者水泳選手権大会 6/19 339人</li> <li>バリアフリーバドミントン大会 4/24 58人</li> <li>関西障がい者バドミントン大会 7/17 73人</li> <li>飛遊フライングディスク大会 9/18 102人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>⑦ 「大阪府障がい者スポーツ協会」の事務局運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪府中級障がい者スポーツ指導員養成講習会」 【再掲】 P2 参照</li> <li>・「大阪府障がい者スポーツ指導員現任者研修会」 実施 3/12 予定</li> <li>・「ひらかたハーフマラソン視覚障がい者の部」 実施 1/9 22人</li> <li>・スポーツ庁・大阪府委託事業「地域における障がい者スポーツ普及促進事業」(府立吹田支援学校、万博記念公園、府立大塚高校、ファインプラザ大阪) 実施4回 880人</li> <li>・大阪府教育庁放課後子ども総合プラン(大阪市中央体育館、池尻体育館) 実施3回 288人</li> </ul>		<p>そして参加者に障がい者スポーツについて興味を持ってもらうとともにトップレベルの指導を受けることのできる機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの声を反映して、長期連続休所日が発生しないように休所日を変更するなど、利便性の向上に取り組まれている。</li> </ul>	
--	--	--	---	--	--	--

- ・スポーツ観戦事業  
サッカー（Jリーグ）300名、プロ野球100名、日本卓球リーグ人数制限なし（12月末現在）、  
1月以降の予定 ジャパンラグビー、バレーボール（Vリーグ）、バスケットボール（JBL）

⑧ 自主事業の開催

- ・「ゆったりヨガ教室」 実施 29回 1,482人（12月末現在）

⑨ トップアスリートの情報発信

- ・リオパラリンピック卓球日本代表別所キミエ選手によるスポーツ講演会及び卓球クリニックの開催 実施 12/11 110人

⑩ 利用者増加のための新たな取り組み

- ・硬式少年野球の利用許可（使用内容に制限）
- ・ファインプラザ大阪のダンス事業「みんなで作る発表会」を「共に生きる障がい者展」に出展
- ・府立支援学校PTAに対し、ファインプログラム等の事業広報実施
- ・「ファインエリアフェスティバル」用のぼりを新調し、近隣住民、通行人に賑わいをアピール
- ・情報資料室充実のために府立中央図書館に図書の寄贈申入れ（74冊の図書の受入れ）
- ・HPを分かり易くリニューアル
- ・堺南消防署と相互リンクを貼り施設PRを実施
- ・3日以上連続休所日にならないよう配慮するため、大阪府と協議し、休所日を変更
- ・ホームページに長期施設予約状況を掲載
- ・老朽化した大ホール床張替え
- ・シャワートイレ及び便座クリーナーの設置
- ・1階障がい者専用駐車場の整備

(2) 利用者数の増加

(1) の取り組みによって利用者数を増加

利用者数の推移（4月1日～12月31日）

年度	障がい者	障がいのない人 (介助者含む)	計
24	69,195	72,296	141,491
25	68,647	53,066	121,713
26	70,881	52,384	123,265
27	72,315	59,556	131,871
28	74,566	59,477	134,058

上記の実施状況から、利用者増加を図るための積極的な事業展開、広報活動ができた。

(2) 利用者数の増加

・障がい者の利用人数は引き続き堅調に伸びてきており、障がい者への施設のPRやプログラムの充実などの成果が表れていると考えられる。一方で障がいのない人の利用者は昨年度とほぼ同程度であり、駐車場無料化による利用者の回復はほぼ終わったと考えられる。今後は障がいのない人に対しても利用者増への取り組みが求められる。

(障がい者

H27 : 72,315人 ⇒ H28 : 74,566人 3.1%増)

(障がいのない人

H27 : 59,556人 ⇒ H28 : 59,477人 0.1%減)

・障がい者と健常者の交流（障がい者理解の促進など）を重視すること。